

視野が暗く、30分で戻る



色んなひとがいて、色んな病気がある。で、不安なひとほど、知りたがる。ボンクラ医者忙しい。

「センセ、不公平じゃない。なぜ、この病気は、女に多いの?」

と、56歳のF子さん。ある日、テレビを観ていたら、突然、右側の視野にギザギザしたのが見え始めた。そのうち、右眼で観ても左眼で観ても、テレビ画面の右側半分だけが暗くなってしまった。が、20〜30分で元に戻ったという。頭痛を伴わない「閃輝暗点」だ。

ものを見る視覚の中枢は、大脳の後ろにある後頭葉である。その働きが悪くなると、反対側の視野半分(左脳なら右視野)が見えに

閃輝暗点

くくなる。閃輝暗点では、後頭葉の一過性の血流低下がみられるとされている。が、ごく稀に、脳梗塞や脳腫瘍が見付かることがある。F子さんにも、MRI(磁気共鳴画像装置)で異常がないことを確かめた。

ところで、閃輝暗点は、珍しいものではない。片頭痛の患者さんの20〜30%くらいに、頭痛の前兆として現れる。だから、若い女性でも、何度も経験する。いっぽう、中年以降の女性では、片頭痛を起さないのに閃輝暗点だけ起こすことがある。どちらの閃輝暗点も、神経の活動亢進で始まる「神経血管説」で説明されている。が、そ

女性に多いが怖くない

の引き金は何なのか? 経過の違いはなぜか? など、医者も分からないことだらけだ。

が、「原因が良く分からないから、予防法もない」などと、患者さんの不安を煽ってはいけない。

こは、「ストレスや疲れなどが原因かも」くらいで止めておこう。

最後に、「閃輝暗点の患者さんはたくさん診ている。でも、男と違い、女のひとで脳梗塞を起こしたひとを、ワッシーは診たことがない。閃輝暗点は、女のひとに多い。が、コワイ病気ではない」を繰り返す。舌がもつれそうだ。

(石黒修三 しいしぐるクリニック 脳神経外科専門医、金沢市在住)